事務事業名			教養文化事業		
担当部名	市民部	室課名	人権平和室交流活動館	室課長名	加藤 智雄

	1 100 1 010 00																
(1)	事業開始年度	平成14年度			改正	n/- F	¬ +- +- ^+ ^ * * * * * * * * * * * * * * * * *		١٥	4 n							
(2)	直近の改正	平成27年度			内容	吹出	日市交流活動	切館余例	J <i>0</i>)—	部							
(3)	根拠法令等	社会福祉法、	隣保館記	2置運	営要綱	更綱(厚生労働省)、吹田		吹田市	交流活	動館	1条例						
		☑ 全部		一部(.	上乗せ	、横	出し等あり))		なし	(国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	「 る義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ソクした場	場合は ²	その説	明			<u> </u>								
(5)	総合計画の体系	章 1	すべ	ての人	、がいき	きいき	き輝くまちづ	くり		節		2		細節		10)
		<u> </u>	.		区	分	□内部管	 管理		建設	———— 战事業	☑ その	 他		:		
		対象 (誰を、何を)			範囲	事等	市民										
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	したいのか	か)	福祉	上の向	り上や人権を	啓発のた	<u>-</u> めの	住民	交流の拠点	点として、教	養文化活	動による信	民交流の	充実を図る)
		結果 (どのような効果	が得られ	るのか)	生活	文化	とや福祉の[向上に役	と立つ	知識	や技術を習	習得できる。	地域コミニ	L二ティの清	ティの活性化にもつながる。		
(7)	事業概要	市民の生活文 心が通う話し 識字教室「文 短期講座(阪	ン方教室 て字板ク [・]	、かきフ	かた教皇	室、 ²	そろばん教:	室、レザ・	一クラ	フト孝	数室、	座▪人権啓	発事業を	開催。			
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	3	項	1			7	大事業	2	中事業	1	小事業	1
	. ,, ,		項目	<u> </u>	<u> </u>				26年』 4年度			-		7年度 年度)		平成28 (2016 ²	
							予算(=	千円)		決算	(千円)	予算(千円)	決算見過	込(千円)	予算(千円)	
			事業費((A)				2,917	7		2,809		2,905		3,104		3,387
		│ │ │ 人件費 ├	職員	員数	<i>\</i>			1.20			1.20		1.20		1.20		1.20
		741120	総額	į (B)	千	円		9,960			9,537		10,023		10,023		9,804
			事業費(/					12,877	-		12,346		12,928		13,127		13,191
(9)	事業費と 財源の内訳	<u> </u>	寺定財源					565			564		565		538		564
		内						565			<u>0</u>		0 565		538		<u> </u>
		訳									564 0		0		030		564 0
			<u>ーー・・</u> 市負担(12,312			11,782		12,363		12,589		12,627
		<u> </u>	地力					C			0		0		0		0
		内 訳 	その	D他				C)		0		0		0		0
		·	一般	財源				12,312	2		11,782				12,589		12,627
			源計(C	+D)				12,877	7		12,346		12,928		13,127		13,191
		☑ 直接実施															
	実施方法	□ 委託	又は一部	邻委託			委託先	① ② ③									
(10)	(該当するもの					<u> </u>	とな委託内容										
	は全部チェック)	□補助	全₌台扣	全			交付先	<u>1</u>									
		山作用切り	业,总记	. <u>117</u>			人以兀	3									
		□ そのイ	他				 内容		1								

			指標項目			項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			つながり文化講座	座・人権啓発事業の開催数	目標値	(.	単位:回)		312.00	312.0	0 312.00
		指標 内容			実績値	(.	単位:回)		286.00	273.0	0 /
	1					達成度	E(%)		91.7	87.	5
		目標値	つながり文化講座 定回数	座・人権啓発事業の開催予	単位当た	総事業領	費(単位:千円)		43.17	48.0	8
1 		の積算 方法	(通年7講座、短	期3講座)	りコスト	一般財活	原(単位:千円)		41.20	46.1	1
活動指標					目標値		(単位:)		0.00	0.0	0.00
標		指標 内容			実績値		(単位:)		0.00	0.0	0 /
	2					達成度	[(%)		0.0	0.	0
		目標値			単位当た	総事業領	費(単位:千円)		0.00	0.0	0
		の積算 方法			りコスト	一般財活	原(単位:千円)		0.00	0.0	0
			つながり文化講座 数	▼・人権啓発事業の参加人	目標値	(.	単位:人)		8,390.00	8,368.0	0 8,390.00
		指標 内容			実績値	(.	単位:人)		6,302.00	7,375.0	0
	1					達成度	(%)		75.1	88.	1
$\widehat{}$		目標値 の積算	つながり文化講座 ×開催予定回数	座・人権啓発事業の定員数 の8割	単位当た	総事業領	費(単位:千円)		1.96	1.7	8
2 。 成		方法			りコスト	一般財活	原(単位:千円)		1.87	1.7	1
成果指標					目標値		(単位:)		0.00	0.0	0.00
標		指標 内容			実績値		(単位:)		0.00	0.0	0
	2					達成度	<u> </u>		0.0	0.	0
		目標値 の積算			単位当た	総事業領	費(単位:千円)		0.00	0.0	0
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.0	0
の が 困 難標	1	活動内容						目標			
難な場合	2	成果内容						達成 状況			
		4	・ 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	t	□縮小	`	□ J	秦止 □	終期の設定
(4)総	合評		評価の説明	人権啓発の拠点施設で 教室・講座を開催することができており、人権 今後も様々な手法を用	ことで多く意識の高	の参加者 揚につな	があり、市民(がっている。	の生活文	化及び福	祉の向上、並び	に交流促進を図る

 所属名
 人権平和室交流活動館

 事務事業番号
 00156
 事業名
 教養文化事業

 事業区分
 その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
H, 18	100 100 1111	ит ризк	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
				5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	— .11.1		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		W
			ウ/ロ 35) 日	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	14	3事業は目標どおりに進捗していますか。		灬
				3	
			b. 日標を下回る進捗状況である。(3点) 4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		点
				•	<u></u>
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光はリコストは第五でする (5-5)		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(= - /III /		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	0	
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 - 東番手はの検討や東務改善に取り組む、見は始な成果な上ばている(5-5)		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)		点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 		
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	20	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20)11()		③適正な受益者負担を求めていますか。 ************************************	_	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	_	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	1+ v+ 		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 人権平和室交流活動館	事務事業番号 00156		
2 各視点からの評価の点数で	ごは表れない事項(必要に応じて	記載)	
3 事務事業の現状分析			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	② 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能	安当性 10 10 有効性 公平性	
	象とした教養・文化活動等の地域住 交流活動館においては、市民の生活	機保館設置運営要綱においては、基本事 民の交流を図る事業を行うこととされてい 5文化及び福祉の向上並びに交流促進を 」を開催している。交通の便があまりよくな	Nる。 E図り、人権感覚豊かな人づくり
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項)		

事務事業名			総合生活相談事業		
担当部名	市民部	室課名	人権平和室交流活動館	室課長名	加藤 智雄

	1 - 100 1 - 514 - 6 10																		
(1)	事業開始年度	平成14年度			改正	n /-	n 	ᆂᆚᄼᅼᄼ	7 /EI 6		п								
(2)	直近の改正	平成27年度			内容	火日	日市交流活	期館分	を 例 (グ)	一台	ß								
(3)	根拠法令等	社会福祉法、	隣保館	設置運	営要網	(厚:	生労働省)	、吹田	市交流	充活	動館	'条例							
		□ 全部	V	一部	(上乗せ	· 、横	出し等あり)	1		なし	(国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実	施する	る義務あ	り)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックした	場合は	その説	明	大阪府総合	らり) ロー なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務を 合相談事業交付金あり											
(5)	総合計画の体系	章 1	1 すべての人がし		人がいき	きいき	上 き輝くまちつ	づくり				節		2		細節		1	0
		<u> </u>			区	分	} □ 内部管理		Г		建設	事業	☑ その	他			<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)			範囲	围等	市民												
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	したいの)か)		iな村	上 目談窓口と と。	して、‡	 地域社	:会(こ密え	着し、生活	上の様々フ	は課題を有	する人	、々の	立場にた	こった相談	 事業にし
		結果 (どのような効果	.が得ら∤	れるのか	、) 相談	をと	おして地域	域の課:	題や市	5民(のニ	一ズ等を多	発見し対応	するととも	に、予	防やホ	目談者の	自立につた	ょがる 。
(7)	事業概要	福祉・就労・教 交流活動館を (相談方法)来 (受付時間)月	·拠点と :館相談	して生 _. &・訪問	活上の村 相談等	 東々を	な課題やニ	ニーズを		• 対	応								
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款		3	項	1		E		7	大事業	2	中事	業	2	小事業	1
			項	目					² 成26年 2014年						7年度 年度)			平成2 (2016	8年度 年度)
							予算(千円)		汐	発(千円)	予算(千円)	決算	見込	(千円)	予算(千円)	
			事業費					9,	,966			9,966		9,966			9,966	9,96	
		人件費		員数					0.15			0.15		0.15			0.15		0.15
		- 04		類(B)		円			,245			1,193		1,253			1,253		1,226
	事業費と		事業費		3)				,211			11,159		11,219			11,219		11,192
(9)	事来負と 財源の内訳		寺定財》	_{原(U)} 国				0,	,700 0			4,277 0		4,726			4,630 0		4,277 0
		<u>内</u>		<u>当</u> 府				6	,700			4,277		4,726			4,630		4,277
		訳 <u></u>		<u>…</u> の他					0			0		0			0		0
			市負担	<u>l</u> (D)				4,	,511			6,882	,	6,493			6,589		6,915
			地	方債					0			0		0			0		0
		内 訳 	そ	の他					0			0		0			0		0
		\smile		段財源					,511			6,882		6,493	-		6,589		6,915
			源計(0	C+D)				11,	,211			11,159		11,219			11,219		11,192
		□ 直接	美施						① 吹	7 🗆 7	<u> </u>	 しべ地域丿							
	実施方法	☑ 委託	又は一	部委訊	£		委託先	_	23				、作 励 云						
(10)	(該当するもの					<u> </u>	Eな委託内		総合生 ①	二八百个	冶 砂	尹未							
	は全部チェック)	□ 補助	金∙負♯	日金			交付先	_	2										
				<u> </u>			~1176	<u> </u>	3										
		□ その [,]	他				内容												

	· ·	指標等	指標項目	1		項目		平成2 (2014		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			総合生活相談の	開催日数	目標値	<u>i</u>)	単位:日)		244.00	243.00	244.00
		指標 内容			実績値	<u>(</u>	単位:日)		244.00	243.00	
	1					達成度	(%)		100.0	100.0	
		目標値 の積算	年度内の土曜日 除く日数	、日曜、祝日、年末年始を	単位当た	総事業費	党(単位:千円)		45.73	46.17	
1		の槓算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		31.17	27.12	
活動指標			総合生活相談の	受理件数	目標値	<u>i</u>)	単位:件)		240.00	218.00	319.00
標		指標 内容			実績値	<u>(È</u>	単位:件)		218.00	319.00	
	2					達成度	(%)		90.8	146.3	
		目標値	前年度の総合生	活相談受理件数	単位当た	総事業費	遺(単位:千円)		51.19	35.17	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	京(単位:千円)		34.89	20.66	
			相談から解決又に		目標値	<u>i</u>)	単位:%)		0.00	100.00	100.00
		指標 内容	(平成27年度から	S)	実績値	<u>i</u>)	単位:%)		0.00	94.30	
	1					達成度	(%)		0.0	94.3	
		目標値 の積算	全件の相談から 割合	解決又は解決に近づいた	単位当た	総事業費	遺(単位:千円)		0.00	118.97	
2 		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	69.87	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	뤛(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
		工									
の 3 が〜	1	活動 内容						目標			
困指 難標 なで								\+ _t			
なっまっている。	2	成果 内容						達成 状況			
		4	└───── う後の方向性 (実施計画)	□拡充	三 継 続	Ē	□ 縮小	•		発止 □	終期の設定
(4)総	合評		評価の説明	多様化する住民ニーズ 図っている。相談を通し がっており、今後も継続	て地域の	課題や信	i 民ニーズ等を				

 所属名
 人権平和室交流活動館

 事務事業番号
 00157
 事業名
 総合生活相談事業
 事業区分
 その他

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(1)	妥当性		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	(20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
<i>(</i> - <i>)</i>	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	:	
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(-)	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u>:</u>	
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(5)	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	20	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	·····································
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	i	
/- >	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	i	
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	i	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	「点合計」 「点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

	か属名	人権平和室交流沽動館	事務事 業 番号	00157	
-	2 各視点	からの評価の点数では表れ	ったい事項(必要に	応じて記載)	
ľ		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			

3 事務事業の現状分析

3 争扬争未 少 统认为彻			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	本事業は、隣保館の基本的事業の一相談内容は、年々複雑多様化してい相談事業を展開している。	-つである。 るが、身近な相談窓口として、様々な課題	題を有する人々の立場に立った

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

大阪府総合相談事業交付金制度について、人権相談・地域就労支援・進路選択支援・生活相談の4補助事業を統合して平成20年度に創設された交付金制度である。

平成23年度が制度見直しの年度となっていたため、大阪府においては、府下市町村の意見も聞きながら制度の見直しを図り、配分基準の変更 を行った。

事業番号 00158

事務事業名	人権ケースワーク事業									
担当部名	市民部	室課名	人権平和室交流活動館	室課長名	加藤 智雄					

•	1 121 1 2 10																
(1)	事業開始年度	平成14年度	成14年度 ————————————————————————————————————				n - \ \ \	£1 &4 &7		40							
(2)	直近の改正	平成27年度			改正 内容	吹出	日市交流活動	動館条	₹例の-	一部							
(3)	根拠法令等	社会福祉法、	粦保館詞	设置運	営要網	(厚	生労働省)、	吹田ī	市交流	活動]館条例						
		□ 全部	V	一部	(上乗せ	、横	出し等あり))		」な	し(国・府制	削度もしくは	法令等で	市が実施す	トる義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	クした均	場合は	その説	明	大阪府総合村	相談事	業交付	·金あ ^し	J						
(5)	総合計画の体系	章 1	すべ	ヾての .	人がいき	きしいき	と輝くまちづ ^く	くり			節		2		細節	1()
		<u> </u>			区	分	□ 内部管	□ 内部管理 □ 建設事業 ☑ その他									
		対象 (誰を、何を)			範囲	<u></u> 範囲等 市民											
(6)	目 的					 権侵害を受けている若しくは受けるおそれのある市民からの相談に、適切な助言と支援をすることで、市民 らが主体的な判断で課題解決できるようにすること。											
		結果 (どのような効果が得られるのか) すべての人権問題の課題解決を図り、人権が尊重される社会の実現。															
(7)	事業概要	人権侵害を受り 切な助言や情報 (相談方法)来 (受付時間)月	報提供等 館相談	等によ ・訪問	り支援 相談等				が、自ら	らの:	主体的な判践 -	新により課題	を解決す	ることがで	きるように	、事案に応	じた適
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	3	項	1		目	7	大事業	2	中事業	3	小事業	1
			項目						成26年 014年					7年度 年度)		平成28 (2016 <i>年</i>	
							予算(-	千円)		決	算(千円)	予算(千円)	決算見過	込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)					2,125				2,125	5	2,125		2,125		2,125
		 人件費 -	人件費 職員数						0.05				0.05		0.05		0.05
			(B)		円			415		398							
	古光井し		事業費(/)		2,540					<u> </u>		+			
(9)	事業費と 財源の内訳		宇定財源	^{民(C)} 国			2,018							+		<u> </u>	
		<u> </u>		当 付				2 (0 018								0 1,425
		訳 <u></u>		<u></u> の他					0				+		0		
			市負担	(D)				5	522			3			1,191		1,109
		<u> </u>	地フ	方債					0		C)	0		0		0
		内 訳	その	の他					0		C		0		0		0
		\sim		財源					522		1,098	3	722		1,191		1,109
			源計(C)+D)				2,5	540		2,523	8	2,543		2,543		2,534
		□□直接等	美肔						① 吹	· — =	きしべ地域。	 人 佐 协 仝					
							委託先	<u> </u>	2	. ш. 113							
		☑ 委託)	又は一部	邹委託	•		2,1070	_	3								
(40)	実施方法					Ė	 とな委託内容	容	 身近な.	人権	相談に対する	る適切な助る					
(10)	(該当するものは全部チェック)							(1								
	16 エ 叩 / エノノ /	口 補助領	金•負担	金			交付先	⊢	2								
								(3								
		□ その他					内容										

2 評		指標等	· 指標項目		項目		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)		
			人権ケースワーク相談の開催日数	目標値	(単位:日)		244.00	243.00	244.00		
		指標 内容		実績値	(単位:日)		244.00	243.00			
	1				達成度(%)		100.0	100.0			
		目標値 の積算	年度内の土曜日、日曜、祝日、年末年始を 除く日数	単位当た	総事業費(単位:千円)		10.34	10.47			
1		の積昇 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		8.85	4.90			
活動指標			人権ケースワーク相談受理件数	目標値	(単位:件)		69.00	66.00	101.00		
標		指標 内容		実績値	(単位:件)		66.00	101.00			
	2				達成度(%)		95.7	153.0			
		目標値	前年度の人権ケースワーク相談受理件数	単位当た	総事業費(単位:千円)		38.23	25.18			
		の積算 方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		32.73	11.79			
				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00		
		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00			
	1						達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00			
2 - 成		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
成果指標				目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00			
	2				達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00			
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
の3 が _い	1	活動 内容				目標					
困指難標			 相談者が抱える人権課題の解決に向けて(の道筋が整理	理できている。		 達成状況を	を客観的に表すこと	が困難。		
なで 場示 合す	2	成果 内容				達成 状況					
		4	う後の方向性 (実施計画) □ 拡充	☑ 継続	□縮り	\		廃止 □ :	終期の設定		
(4)総·	合評		本事業は、相談者の私でおり、今後も継続が		_	を持つ支	_ 援をするこ	とにおいて公的名	设割の一端を担っ		

 所属名
 人権平和室交流活動館

 事務事業番号
 00158
 事業名
 人権ケースワーク事業
 事業区分
 その他

	<u>現点からの</u> の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т III. 	リンガ派	二川川流	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u> </u>	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	<u> </u>	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		, m
			a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
				5	 点
			(4)市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	<u> </u>	
				. .	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 	0	
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
	(3) 効率性 (20点)		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)		14	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		////	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 		
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	20	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20)11()		③適正な受益者負担を求めていますか。 	_	<u></u>
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	_	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 	_	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	+±		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	<u> </u>	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	5点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	人権平和室交流活動館	事務事業番号	00158	
2 各視点	。 はからの評価の点数では表れ	れない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 4 分率性 効率性	
(3)現状分析	様々な相談に対する適切な助言、情意	報提供、事案に応じた適切な機関の紹介	r、取次ぎ等支援が出来てい

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

大阪府総合相談事業交付金制度について、人権相談・地域就労支援・進路選択支援・生活相談の4補助事業を統合して平成20年度に創設された交付金制度である。

平成23年度が制度見直しの年度となっていたため、大阪府においては、府下市町村の意見も聞きながら制度の見直しを図り、配分基準の変更 を行った。

尹未留万 00109	事業番号	00159
--------------	------	-------

事務事業名	人権啓発交流推進事業									
担当部名	市民部	室課名	人権平和室交流活動館	室課長名	加藤 智雄					

(1)	事業開始年度	平成14年度		改正	n/r (T)	十六次江毗岭	夕瓜の	. ₩7								
(2)	直近の改正	平成27年度		内容	火田	日市交流活動館	余例の)一部								
(3)	根拠法令等	社会福祉法、隊		置運営要網	(厚生	生労働省)、吹田	市交流	流活動館	条例							
		☑ 全部		·部(上乗せ	大横	出し等あり)		□ なし	(国∙府制]度もしくは	去令等でī	市が実施す	る義務あ	IJ)		
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	クした場合	合はその説	明		•									
(5)	総合計画の体系	章 1	すべて	の人がいる	きいき	を輝くまちづくり			節		2	;	細節	10		
		-		X	分	□ 内部管理 □ 建設事業 ☑ その他										
(0)		対象 (誰を、何を)		範	市民											
(6)	目的					 権啓発事業・市民相互の交流促進を図る事業・研修・講演会の開催・人権啓発看板や冊子等を作成し、人 問題に関心と正しい認識を持ってもらう。										
		結果 (どのような効果)	結果 どのような効果が得られるのか) 人権問題に関心と正しい認識を持つ人が増えることで、人権課題の解決につながる。													
(7)	事業概要	で、地域社会に (1)地域人権閉 人権問題の理 (2)地域交流抗 人権啓発と人 (3)世格 人権啓発と人	権意識の高揚を図り、互いの人権が尊重される豊かな社会の実現をめざすことを目的として実施される人権啓発事業等を支 、地域社会に密着し、人権啓発事業等を日常的に行う公共的団体に助成。 1)地域人権啓発事業 人権問題の理解に向けての広報・啓発活動を行う事業に対する支援 2)地域交流推進事業 人権啓発と人権問題解決のため、地域住民の交流を図る事業に対する支援 3)世代間交流推進事業 人権啓発と人権問題解決のため、若年層から高齢者、障がい者等、あらゆる人たちが 交流し、人と人のふれあいを通して相互理解を深めていく事業に対する支援									を支援する	もの			
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	1	目	7	大事業	2	中事業	4	小事業	1	
			項目				平成26: (2014年				平成2 (2015			平成28 ² (2016年		
					ŀ	予算(千円))	—————————————————————————————————————	(千円)	予算(-	千四)	決算見辺	(千円)	 予算(千	-田)	
						J JI \ J.	,	<u> </u>))) ((1 1 1/	777702	- \),) /	1 1/	
		- -	事業費(A				5,700	<u> </u>	5,700		5,700	7797762	5,700		5,700	
			職員数	数 .	L	5	5,700 0.40	八开	5,700 0.40		5,700 0.40	, () () () () () () () () () () () () ()	5,700 0.40		5,700 0.40	
		人件費 —	職員数総額(数 , B) 千	人 一円	3	5,700 0.40 3,320	(A)	5,700 0.40 3,179		5,700 0.40 3,341	<i>(</i> (3))	5,700 0.40 3,341		5,700 0.40 3,268	
	重業费と	人件費 一総事	職員数 総額(事業費(A-	数 , B) 千 +B)		3	5,700 0.40 3,320 9,020	八开	5,700 0.40 3,179 8,879		5,700 0.40	<i>(</i> (3)-30.2	5,700 0.40 3,341 9,041		5,700 0.40 3,268 8,968	
(9)	事業費と 財源の内訳	人件費 一総事	職員数 総額(事業費(A- 特定財源(C	数 , B) 千 +B)		3	5,700 0.40 3,320	八开	5,700 0.40 3,179 8,879		5,700 0.40 3,341 9,041 0	<i>(</i> (3))	5,700 0.40 3,341 9,041		5,700 0.40 3,268 8,968 0	
(9)		人件費 総事 特	職員数 総額(事業費(A-	数 , B) 千 +B)		3	5,700 0.40 3,320 0,020	八开	5,700 0.40 3,179 8,879		5,700 0.40 3,341	<i>(</i> (3))	5,700 0.40 3,341 9,041		5,700 0.40 3,268 8,968	
(9)		人件費 総事	職員数 総額(事業費(A- 持定財源(C 国	数 / B) 千 +B) C)		3	0.40 0.3320 0,020 0	八开	5,700 0.40 3,179 8,879 0		5,700 0.40 3,341 9,041 0	<i>(</i> (3))	5,700 0.40 3,341 9,041 0		5,700 0.40 3,268 8,968 0	
(9)		人件費 総事 (内訳)	職員数 総額(事業費(A- 持定財源(C 国 府	数 / AB) 千 +B) C)		3	0.40 0.40 3,320 0,020 0		5,700 0.40 3,179 8,879 0 0		5,700 0.40 3,341 9,041 0		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0		5,700 0.40 3,268 8,968 0 0	
(9)		人件費 — 総事 (内訳)	職員数 総額(業費(A- 特定財源(G 事定財源(G 市負担(D 市負担(D	数 / B) 千 +B) C)		3	0.40 0.40 3,320 0,020 0 0		5,700 0.40 3,179 8,879 0 0		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 0 9,041		5,700 0.40 3,268 8,968 0 0 0 8,968	
(9)		人件費 一 総事 特 (内訳)	職員数 総額(業費(A- 持定財源(国府 その他 市負担(D せ方便	数 / B) 千 +B) C)		3	0,700 0.40 3,320 0,020 0 0 0,020 0		5,700 0.40 3,179 8,879 0 0 0 8,879 0		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 0 9,041 0		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 0 9,041 0		5,700 0.40 3,268 8,968 0 0 0 8,968 0	
(9)		人件費 一 (内訳) (内訳)	職員数 総額(A- 持定財源 国府 その他 市負担方の他 一般財	by / AB) 千 HB) C)		3 9	0,700 0,40 3,320 0,020 0 0 0,020 0 0,020		5,700 0.40 3,179 8,879 0 0 8,879 0 8,879		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 9,041 0 9,041		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 0 9,041 0 9,041		5,700 0.40 3,268 8,968 0 0 0 8,968 0	
(9)		人件費 場 (内訳) (内訳) 財	職員数 総費(A- 宇定財源国 を担い方の他 市負地方の他 一般財源計(C+	by / AB) 千 HB) C)		3 9	0,700 0.40 3,320 0,020 0 0 0,020 0	М #	5,700 0.40 3,179 8,879 0 0 0 8,879 0		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 0 9,041 0		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 0 9,041 0		5,700 0.40 3,268 8,968 0 0	
(9)		人件費 (内訳) (内訳) (内訳) 財援	職員数 総費(A- 宇定財源国 を担い方の他 市負地方の他 一般財源計(C+	数 / B) 千 +B) C) 也 り も り あ り	·P	委託先	0,700 0,40 3,320 0,020 0 0 0,020 0 0,020		5,700 0.40 3,179 8,879 0 0 8,879 0 8,879		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 9,041 0 9,041		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 0 9,041 0 9,041		5,700 0.40 3,268 8,968 0 0 0 8,968	
(10)	財源の内訳	人件費 (内訳) (内訳) (内訳) 財援	職員 総費(A- 持定 そ担地その(C 一計) を報り でしたのは でした。 では でした。 では でした。 では でした。 では でした。 では でした。 では でした。 では でした。 では でした。 では でした。 では でした。 では でした。 では でした。 では でした。 では でした。 では でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。 でした。	数 / B) 千 +B) C) 也 り も り あ り	·P	9	0,700 0,40 3,320 0,020 0 0 0,020 0,020 0,020 0,020 0,020 0,020 0,020		5,700 0.40 3,179 8,879 0 0 8,879 0 8,879 8,879		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 9,041 0 9,041		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 0 9,041 0 9,041		5,700 0.40 3,268 8,968 0 0 0 8,968	
	財源の内訳	人件費 (内訳) (内訳) (内訳) 事特 (内訳) 財務	職額 (A-f) 一様 (A-f) 一計 (A-f) 一 (A-f)	数 / AB) 千 HB) C)	·P	委託先	0,700 0,020		5,700 0.40 3,179 8,879 0 0 8,879 0 8,879		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 9,041 0 9,041		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 0 9,041 0 9,041		5,700 0.40 3,268 8,968 0 0 0 8,968 0	
	財源の内訳実施方法(該当するもの	人件費 (内訳) (内訳) (内訳) 事特 (内訳) 財務	職員 総費(A- 持定 を担地を他で 一計 を他のののででである。 では方のは ではない。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	数 / AB) 千 HB) C)	·P	委託先	0,700 0,40 3,320 0,020 0 0 0,020 0,020 0,020 0,020 0,020 0,020 0,020		5,700 0.40 3,179 8,879 0 0 8,879 0 8,879 8,879		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 9,041 0 9,041		5,700 0.40 3,341 9,041 0 0 0 9,041 0 9,041		5,700 0.40 3,268 8,968 0 0 0 8,968 0	

)指標等	指標項目	■		項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)																				
				、権啓発交流推進事業、研 8年度】人権啓発交流推進	目標値	<u>(</u>	単位:回)		16.00	14.00	4.00																				
		指標 内容	事業実施回数		実績値	<u>(</u>	単位:回)		14.00	9.00																					
	1					達成度(%)		87.5		64.3																					
		目標値	【26、27年度】人 修等実施回数の	、権啓発交流推進事業、研 前年度実績【28年度】人権	単位当た	総事業費	♂(単位:千円)		634.21	1,004.56																					
1) T		の積算 方法	啓発交流推進事		りコスト	一般財源	京(単位:千円)		634.21	1,004.56																					
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00																				
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00) /																				
	2					達成度	(%)		0.0	0.0																					
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00																					
		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00																					
			修等参加者数【2	、権啓発交流推進事業、研 8年度】人権啓発交流推進	目標値	道)	単位:人)		14,038.00	19,702.00	21,180.00																				
		指標 内容	事業参加者数		実績値	<u>(</u> <u>Ě</u>	単位:人)		19,702.00	21,337.00																					
	1																									達成度	(%)		140.3	108.3	
		【26、27年度】人権啓発交流推進事業、社会 目標値 修等参加者数の前年度実績【28年度】人 の積算 及発交流推進事業参加者数の前年度実績									総事業費	(単位:千円)		0.45	0.42																
2) 成		方法	合完文派推進争未参加有剱の削平及夫領		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.45	0.42	2																				
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00																				
標		指標 内容				(単位:)		0.00	0.00																					
	2						(%)		0.0	0.0																					
		目標値 の積算					<u> </u>						総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00														
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00																					
の の が 困 お 指	1	活動 内容						目標																							
難な場合	2	成果 内容						達成 状況																							
		4	・ 今後の方向性 (実施計画)		☑ 継続		□縮小		, ,		終期の設定																				
(4)総	合評		評価の説明		重のまちつ 事業内容 /大会 プラザ	80人 大会 1, 400人 ^ያ ラザ 2, 700人					(水の)の/にめ)の																				

 所属名
 人権平和室交流活動館

 事務事業番号
 00159
 事業名
 人権啓発交流推進事業
 事業区分
 その他

評価	RRからの iの視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
(1)			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	·i	
	妥当性	4.0	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
	(20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	·i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
	(20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	.i	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	i	
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
				<u>:</u>	
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
				<u>i</u>	
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	16		<u> </u>	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	<u> </u>	
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
				<u>:</u>	
			a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
	公平性			<u>:</u>	
			a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	20点) 20 ③適正な受益者負担を求めていますか。		<u>.i</u>	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	<u> </u>	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			りま業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
				<u>:</u>	
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較·分析していますか。	i	
			b. 定期的に比較·分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	·i	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 4 分率性	
(3)現状分析	をすることは行政の役割でもある。	自らが取組む問題ではあるが、様々な手 『・必要性が市民の中へ浸透すること、又 づくりの実現につながると考える。	

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成24年度に「地域啓発事業」、「世代間交流推進事業」、「地域交流推進事業」の3事業を「人権啓発交流推進事業」に統合。

Ī	事務事業名			交流活動館施設管理事業						
	担当部名	市民部	室課名	人権平和室交流活動館	室課長名	加藤 智雄				

ı	事務事業の機	以安																			
(1)	事業開始年度	平成14年度			改正	ᄣᅋ	士六法迁	. 重4 公立 4	久 加	Φ-	. ⊅ 7										
(2)	直近の改正	平成27年度			内容	吹田	l市交流活		村別	<i>J)</i> —	_ 旦)										
(3)	根拠法令等	隣保館設置運	営要網	関(厚生党	労働省)	、吹	田市交流	活動飽	官条化	列											
		□ 全部	V	一部(上乗せ、横出し等あり)						なし	(国•	府制	川度もしくはえ	去令等で	市が実施す	 る義務あ	(b)			
(4)	市単独事業区分		ックした	場合は ⁻	その説明	明	隣保館運営														
(5)	総合計画の体系	章 1	すん	べての人	しがいき	いき	輝くまちつ	づくり				節		2		細節		10	1		
		<u>:</u>			区	分	☑ 内部	管理			建設	事業		□ その他	<u>t</u>			<u>:</u>			
		対象 (誰を、何を)			範囲	事等	交流活動	館									細節 10 交流活動館を管理する。 。 1 小事業 1 平成28年度 (2016年度)				
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	したいの)か)	市民	ーー」 Hの生	∄文化及	、 び福 [:]	— 祉の	—— 白上	上並び	に交流	のほ	足進を図るた	2 細節 10 その他 E図るための施設である交流活動館を管理する。 む社会の実現に資する。 事業 3 中事業 1 小事業 1 平成27年度 (2015年度) 平成28年度 (2016年度) 予算(千円) 決算見込(千円) 予算(千円) 30,023 28,605 32,260 1.20 1.20 1.20 10,023 10,023 9,804 40,046 38,628 42,064 8,321 7,907 4,356 0 0 0 0 128 118 128 128 118 128 31,725 30,721 37,708 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0						
		結果	よび担こも	20t)	すべ	ての)人権問題	の課題	 題解:	 決を	三図り、	人権が	が尊ら	重される社会	会の実現	に資する。					
(7)	事業概要 H27事業別)施設管			T		学習等	寿に(<u></u>			1		T :		I .		小車業			
(8)	予算コード	会計	1	款	3	3	埧	1		<u> </u>	<u>日</u>	/		万 事兼	3	甲爭兼	1	小事業			
		項 目					平成26年度 (2014年度)														
				予算			予算(千円)		決算(千円)		予算(千円)		決算見記	以(千円)	予算(=	千円)					
			事業費				28	,441			28	,102		30,023		28,605		32,260			
		│ │ 人件費 ├	職	員数	<u>ا</u> ا		出し等あり) □ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
						円		おびくり 節 2 細節 10 部管理 □ 建設事業 □ その他 3 根部 10 部管理 □ 建設事業 □ その他 3 中事業 □ 7 大事業 3 中事業 □ 7 中東度26年度 (2015年度) 7 大事業 3 中事業 □ 7 中東度26年度 (2015年度) 7 大事業 3 中事業 □ 7 中成28年度 (2015年度) 7 大事業 3 中事業 □ 7 中成28年度 (2015年度) 7 大事業 □ 7 中成28年度 (2016年度) 7 大事業 □ 1 120 □ 131 □ 128 □ 118 □ 128 □ 120 □ 131 □ 128 □ 118 □ 128 □ 131,203 □ 30.462 □ 31.725 □ 30.721 □ 37.708 □ 31.203 □ 30.462 □ 31.725 □ 30.721 □ 37.708 □ 38.401 □ 37.639 □ 40.046 □ 38.628 □ 42.064 □ 7 持承、警備、他計9業務 □ 1 □ 1 北大阪興業(株) 他 □ 7 市 7 市 7 市 7 市 7 市 7 市 7 市 7 市 7 市 7													
	(議を・何を)		•																		
(9)		年						/				/,					-				
		中華																			
	事業費と	訳											-				-				
							+			 	30,462										
			地	方債					0	0		0			0		0				
		記	そ	の他					0		0		0		0		0				
															31,725						
				C+D)				38	,401			37	,639		40,046		38,628		42,064		
		□□□接	実施		Ī			T	<u>(1)</u>	- 4F	★ R長 鍋	** / 壮) 4H								
							委託先			167		** \ 1\^	·/ IĽ					小事業 1 平成28年度 (2016年度) 予算(千円) 32,260 1.20 3,804 42,064 4,356 0 0 4,228 3 128 37,708 0 0 37,708			
		☑ 委託	又は一	部委託			× 1075														
(40)	実施方法				ŀ	主	な委託内	容		、警	·····································	也計9第	美務								
(10)	(該当するもの は全部チェック)								1												
	16 土 叩 ノ エンン /	□ 補助	金•負担	旦金			交付先														
									3												
		□ その [•]		内容																	

		指標等	指標項目			項目			16年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			開館日数		目標値	(単	≦位∶日)		293.00	294.00	293.00
		指標 内容		実績値	(単	≦位∶日)		293.00	294.00		
	1	- 			達成度(%)				100.0	100.0	
$\widehat{}$		目標値	日曜祝日、年末年	単位当た	総事業費	(単位:千円)		128.46	131.39		
1		の積算 方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		103.97	104.49		
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00	
			館利用者数		目標値	(首	≦位∶人)		10,000.00	10,000.00	14,000.00
		指標 内容			実績値	(単	≦位∶人)		13,125.00	13,787.00	
	1					達成度	(%)		131.3	137.9	
<u></u>		目標値 の積算	過去の館利用者 算	過去の館利用者数の伸び率実績を基に積 算		総事業費	(単位:千円)		2.87	2.80	
\smile		方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		2.32	2.23		
成 果 指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2				達成度	(%)	0.00		0.0		
		目標値 の積算		単位当たりコスト	総事業費	(単位:千円)			0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)			0.00		
の3 がシ 困指	3 ① 内容							目標			
困難な場合	7. 標 で 示 す 2 成果 内容							達成 状況			
	1	4	└────────────────────────────────────	□拡充	·····································	Č	□ 縮小	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		差止 □	終期の設定
(4)総·	(4)総合評価		評価の説明	交流活動館は、基本的 すべての人権問題の課 てきており、今後も事業	関解決を	図り、人	権が尊重され	る社会の			

 所属名
 人権平和室交流活動館

 事務事業番号
 01054
 事業名
 交流活動館施設管理事業
 事業区分
 内部管理

評価	兄屈からの iの視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
(1)			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	妥当性	10	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
	(20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	······································	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•	
(2)			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	5 点 5 点 3 点	
	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)		
	(20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	i	
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	i	
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
청			①単位当たりコストは適正ですか。	<u>:</u>	
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	i	
	効率性	P	b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3)	(20点)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	i	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	<u> </u>	
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。	i	
(4)	公平性		内部管理		点
(4)	(20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。	i	
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	i	
			内部管理		点
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u> </u>	
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	:	
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	i	
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	· ·······	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	:	

所属名 人権平和室交流活動館	事務事業番号 01054							
2 各視点からの評価の点数で	ごは表れない事項(必要に応じて	記載)						
3 事務事業の現状分析								
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他					
(2)各視点からの評価結果	要当性 20 10 5 10 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7							
	以来40年を経過した建物である。 来館者数が増加していることから、3	、必要に応じて建物の一部改修を行って 安全に配慮しながら維持修繕に努めている 事業を展開していくためには、施設を良好	る。					
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項)							